

ICTを活用した見守り、健康増進の仕組みづくりに向け

沼田町が奈良県立医大、

今月中旬からモニター事業

【沼田】ICT（情報通信技術）を活用した高齢者の見守り、健康増進の仕組みづくりに向け、町が奈良県立医大（奈良県橿原市、橿原市立医大）とタッグを組む。町は1日、MIRI（医学を基幹とするまちづくり）を推進する「奈良県立医大（奈良県立研究所）（沼田）研究所、新長・沼田支店」と、同大発のベンチャー企業「リンク社」（リンク）と、共同で、健康増進事業を進める。今月下旬から、六十五歳以上の町民を対象に、リンク社が提供する「高齢者見守りシステム」のモニター事業が行われる予定だ。

リンク社は、スマート端末搭載型センサーなどを活用し、高齢者の行動履歴などをそのデータをアプリ（リー）を通じて結び、リアルタイムで、



沼田町立医大とリンク社が共同で進めるICTを活用した見守り事業の記者会見の様子。左から沼田町長、新長、沼田支店長。

モニター事業で使用するスマート端末。